

安城市内景況調査結果 (平成29年4月～6月)

< 来期も今期同様に依然厳しい状態が続いていく見通し >

1. 調査対象 対象企業数 会議所役員・会員事業所 105企業

2. 調査対象時期 平成29年4～6月期

(1)前年同期(平成28年4～6月)と比べた今期の状況

(2)今期と比べた来期(平成29年7～9月)の先行き見通し

3. 企業数内訳

	製造業	小売・卸業	建設業	サービス業	計
企業数	22	30	19	34	105
構成比	20.9%	28.6%	18.1%	32.4%	100.0%

安城市内の今期の業況判断DIを詳しく見ると下記の表のとおり、△18.3ポイントとなった。業況判断の前回実績(△4.9)と比較すると△13.4ポイントの低下であった。全産業において来期も今期同様に厳しい状態が続いていくことが予測される。また、借入難度は全産業とも低下していく見通しである。

	前年同期比 (前回)	前年同期比 (今回)	来期の 見通し
業況判断	△4.9	△18.3	△16.2
売上高	△14.5	△18.2	△20.3
売上単価	△10.7	△18.2	△14.2
資金繰り	△2.9	△10.1	△9.1
借入難度	5.8	5.2	△2.0
収益状況	△3.9	△19.3	△23.3
雇用人員	△38.8	△32.7	△25.3

凡例▶ 30以上 10を超える 10～△10 △10を超える △30以上

		全 産 業									
		製 造 業		小 売 ・ 卸 業		建 設 業		サ ー ビ ス 業			
前 年 同 期 対 比	業 況 判 断	△18.3		△15.0		△33.0		△5.2		△16.1	
	売 上 高	△18.2		△15.0		△25.9		△10.6		△19.3	
	売 上 単 価	△18.2		△15.0		△22.2		△26.3		△9.7	
	資 金 繰 り	△10.1		△5.0		△11.1		△10.5		△6.5	
	借 入 難 度	5.2		10.0		7.4		5.3		0.1	
	収 益 状 況	△19.3		△20.0		△22.2		△5.3		△22.6	
	雇 用 人 員	△32.7		△25.0		△18.5		△63.1		△25.9	
来 期 の 見 通 し	業 況 判 断	△16.2		△10.0		△40.7		0		△9.7	
	売 上 高	△20.3		△15.0		△44.4		△5.2		△9.6	
	売 上 単 価	△14.2		△15.0		△22.2		△5.3		△6.5	
	資 金 繰 り	△9.1		△15.0		△14.8		△5.2		0	
	借 入 難 度	△2.0		△5.0		0		△5.3		△6.5	
	収 益 状 況	△23.3		△20.0		△40.7		△10.6		△13.0	
	雇 用 人 員	△25.3		△20.0		△11.1		△52.6		△19.4	

※DIとは、「ディフュージョン・インデックス」(景気動向指数)の略で、各調査項目について「増加」(好転、やや好転)した企業割合から、「減少」(やや悪化、悪化)した企業割合を差し引いた値である。例えば、売上で「増加」25%、「不変」60%、「減少」15%の場合のDIは、25-15=10となる。

今後も、四半期ごとに景況調査を実施いたしますので、ご協力の程よろしくお願いたします。
なお、詳しい指標は、当所ホームページの「景況調査」のページをご覧ください。